

令和6年 5月 15日

理事長 殿

## 2023年度 特定課題研究費研究報告書

研究代表者	所属	一般科目	職	助教	氏名	朝倉慎人
研究分担者	所属		職		氏名	
	所属		職		氏名	
	所属		職		氏名	
研究課題名	(和文) 現代日本の農村空間における観光振興の展開と共同体的論理 (英文) A study of the relationship between tourism development and the logic of rural community in Japan					
研究種目	スタートアップ研究					
研究実績の概要						
<p>本研究は、日本の農村部を対象として、異なる地域的文脈の重なり合いが、ホストの実践のあり方やその相互作用の帰結としての観光空間の地域性をいかにして生み出すのかを明らかにすることを目的とした。</p> <p>令和5年度は、研究の第一段階として、文献調査と予備的な現地調査にもとづいて研究候補地の選定作業を行い、京都府南丹市美山町と広島県府中市上下町を研究対象地域に決定した。前者における予備調査では、重要伝統的建造物群保存地区・かやぶきの里において、京都・美山・北村かやぶきの里保存会の関係者を取材し、保存活動の経緯や現状、景観保存と集落の関係など基本的な事項を整理した。後者における予備調査では、天領上下まちづくりの会の関係者を取材し、まちづくりの現状や課題を整理し、関係者との意見交換を行った。いずれの地域においても地域資源の観光活用と集落ないしは地域社会とのかかわりが密接であるため、今後の本調査を通じて、観光開発・観光まちづくりの展開と地域的文脈との関係を詳細に議論することができると考えられる。以上の成果をふまえて、次年度に本格的な実証研究を実施し、学会誌への投稿をめざす。</p>						
研究発表（論文、著書、講演等）						
特になし						
その他（教育活動・OPCへの貢献、特許等）						
特になし						